

どうしてこういう
行動をとるの？

こどもの行動理由から見出す

関わり方のヒントⅡ

親は
どうかかわれば
いいの？

発達凸凹かも？から 発達障害の子どもたちまで

今や10人に1人は発達に凸凹を持つと言われています。
そんな子どもたちに家族や周囲は、どのように関わっていけばいいのでしょうか？
生きづらさを抱えがちな子どもたちが、特性を生かし伸び伸びと成長できるよう、
必死に子どもを支えようとしている親たちが、笑顔で子育てしていけるよう、子
どもの行動理由から関わり方のヒントをお伝えします。親や家族、その周りの支
える人たちができるサポートを一緒に学びませんか？

講師 木村 宣貴(よしたか) 氏
「M&F Relations」代表、選択理論心理士、日本リア
リティセラピー協会会員
「ひとりでも多くの人の幸せをサポートしたい」という
思いから、「大切な人とのより良い関係の築き方」を
講師兼カウンセラーとして伝えている。幼稚園～高
校、市区町村で、学生・
保護者・教員向けまで、
年間講演回数は300回。
不登校など様々な問題
を抱える子どもが在籍
する県立高校での非常
勤講師の経験から、思
春期の子どもを持つ保
護者や発達支援に関わ
る方向けの講演も行って
いる。



10月3日(日)

10:00～12:00

場所 ヒロロ4階
文化交流館ホール

対象 保護者、保育・教育・療育関係者
その他発達支援に関心をお持ちの方
定員 30名
託児10名(無料)

東京からのオンライン講演会に
なります。

共催:子育てが楽しくなるパパママ楽習会

お問い合わせ・お申し込み

弘前市駅前こどもの広場 0172-35-0156

ヒロロ3階 駅前こどもの広場窓口へ